

(仮称) 総合体育館建設に向けてのワークショップ 実施報告

1. ワークショップ開催の目的と構成	1
(1) ワークショップ開催の目的	1
(2) ワークショップの構成等	2
2. ワークショップの概要	3
(1) 第1回実施概要	3
(2) 第2回実施概要	4
(3) 第3回実施概要	5
(4) 第4回実施概要	6
3. ワークショップのまとめ	8
(1) 新体育館の目指す姿	8
(2) 新体育館の機能と規模	8
(3) 新体育館の建設場所	9

1. ワークショップ開催の目的と構成

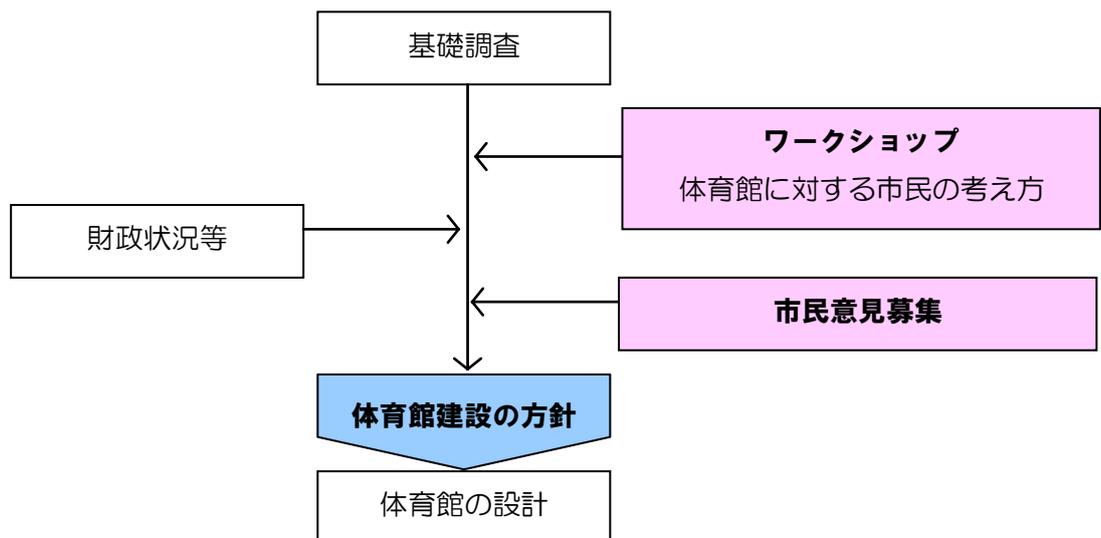
(1) ワークショップ開催の目的

大牟田市民体育館は、昭和 49 年に開設され、市民のスポーツ活動や健康増進の拠点施設として 40 年を超える年月にわたって利用されてきましたが、建物の老朽化やバリアフリー対策、耐震化の遅れなどが課題となっています。

このため、「大牟田市総合体育館建設に係る基礎調査」を平成 26 年度に実施し、建設場所や規模などについて報告書を取りまとめました。しかし、体育館建設を進めるにあたっては、施設の機能や規模をどのようにするかなど、さまざまな意見があるなかで、本市を取り巻く状況、特に財政状況や「公共施設等維持管理計画」における公共施設総量 20%縮減、施設の複合化や多機能化による統廃合などの観点を踏まえた施設整備を図る必要があります。

このような状況のなかで、総合体育館の建設を推進していくためには、市民の合意形成が重要な課題であることから、市の現状を示したうえで、広く市民の意見を聴き、総合体育館建設における市としての方向性を決定していくことを目的にワークショップを開催しました。

■ワークショップ開催の位置づけ



(2) ワークショップの構成等

■コーディネーター

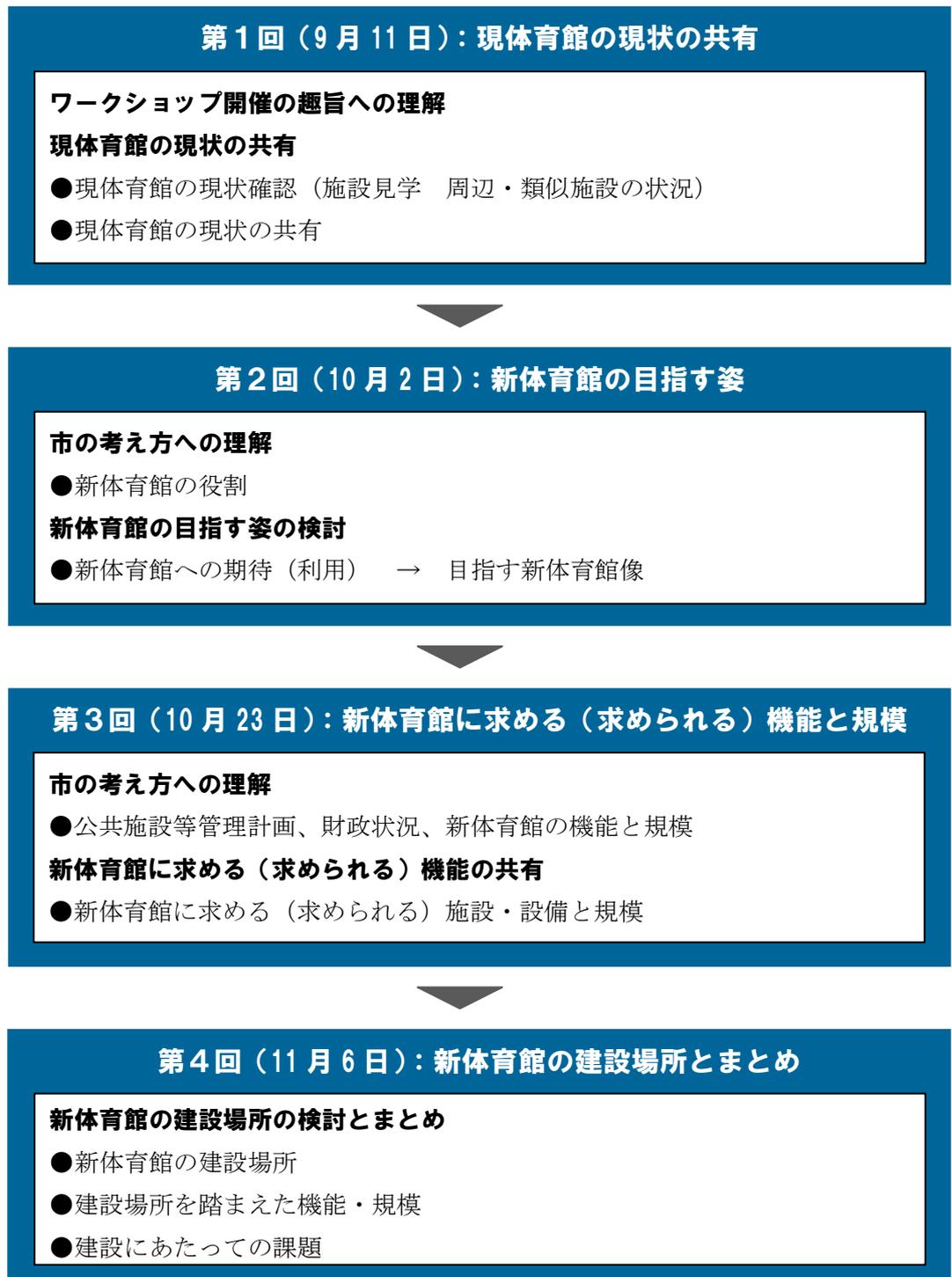
福岡県まちづくり専門家 貞清 潔 氏

■参加者

各スポーツ団体をはじめ各種団体の推薦者、一般公募、さらに次世代の本市を担う高校生・大学生の計 49 名

■ワークショップの構成

下図に示すように 4 回開催し、財政状況などの現状の説明を行いながら、体育館建設の機能や規模、建設場所などについて班別に話し合い、一定の合意を得ていくものとした。



2. ワークショップの概要

(1) 第1回実施概要

■日時：9月11日（日） 10：00～12：00

■会場：大牟田市民体育館 研修室A

■テーマ：「現体育館の現状の共有」

■参加者：35人（6班）



■プログラム

①現体育館の概要

- ・スポーツ推進室より現体育館の仕様や周辺・類似施設の状況などについて説明

②現体育館巡り

- ・現体育館を巡り、新たな体育館にも引き継ぎたい良いところ、改善したい悪いところなど、班でまとまって行動しながら気づいたことを平面図に記入

■各班の意見の集約＜現体育館の良いところ、悪いところ＞

○良いところ

- ・延命公園内に立地する緑豊かな環境にあり、市内外から数多くの利用者に親しまれている

×悪いところ

- ・施設の設備の老朽化、障がい者などへの対応の遅れ、空調の不備、通路の狭さなど、多くの問題点が指摘された

良いところ	<p>全体的なこととして</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな団体の利用、大会の開催など、市内外の利用者が多い ○公園の中にあって緑が多く、周辺にはスポーツ施設が多く立地環境が良い <p>施設設備として</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トイレが各所にあること ○中2階のバルコニーがある ○いろいろなトレーニングルームや道具がそろっている ○卓球室の台数は十分（1・3階あり） ○食堂がある ○ガラス張りが多く採光面等でよい <p style="text-align: right;">等々</p>
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"> ×すべてにおいて閉塞感がある（天井が低い、通路等が狭い、暗い） ×通路や階段が狭くて窓が少なく採光悪く暗い暑い ×空調が整備されていない ×障がい者への対応ができていない（エレベーター、トイレ、手すり等） ×トイレ（和式が主）やシャワーが古く、汚い ×駐車場が少ない、まとまってない ×サブアリーナがない <p style="text-align: right;">等々</p>

(2) 第2回実施概要

- 日時：10月2日（日） 15：00～17：00
- 会場：大牟田市労働福祉会館 中ホール
- テーマ：「新体育館の目指す姿」
- 参加者：34人（7班）



■プログラム

①新体育館の考え方

- ・スポーツ推進室より、「総合体育館建設に係る基礎調査」で整理されている新体育館の役割などについての市の考え方を説明

②新体育館の目指す姿を考える

- ・「こんな体育館にしたい」「こんな体育館だったら」等々、新体育館に期待するもの、欠かせないもの等を班の中で自由に意見交換を行い、意見を分類し、「〇〇な体育館」というフレーズで見だしを付け目指す新体育館の姿についてまとめた

■各班の意見の集約＜新体育館の目指す姿＞

- ・スポーツの場としてだけでなく健康増進のための場、またトップレベルの大会が開催できる一方で多機能・多目的で活用できるような体育館
- ・設備の老朽化、障がい者などへの対応などの設備を整えることのほかに、駐車場やアクセスの良い体育館

分類	各班で分類した新体育館の目指す姿
スポーツ活動の場 体力づくり・健康づくりの場	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進ができる体育館 ・競技力、健康を増進強化する体育館 ・安心できる体育館
トップレベルの大会の場	<ul style="list-style-type: none"> ・大牟田に人を集める体育館 ・夢を与える体育館 ・全国規模の大会ができる体育館
多機能・多目的な施設	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に入れる体育館 ・みんなが集える体育館 ・多機能設備充実した体育館 ・多目的に使える体育館
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトが充実した体育館 ・誰でも使える体育館
整った設備環境	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の整った体育館 ・エコな体育館 ・儲かる体育館 ・明るくきれいな体育館 ・気持ちよく楽しく使える体育館
利用（予約等）の利便	<ul style="list-style-type: none"> ・使い勝手の良い体育館 ・いつでも使える体育館
駐車場の広さ アクセスの良さ	<ul style="list-style-type: none"> ・行きやすく、行きたくなるような体育館 ・駐車場が広い体育館 ・高齢者にやさしい体育館 ・アクセスしやすい体育館

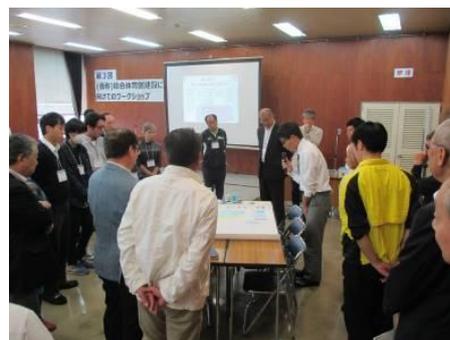
(3) 第3回実施概要

■日時：10月23日（日） 10：00～12：00

■会場：大牟田市労働福祉会館 中ホール

■テーマ：「新体育館に求められる機能と規模」

■参加者：22人（4班）



■プログラム

①新体育館の考え方

- ・新たな体育館の建設にあたって、理解しておかなければならない市の財政状況などについて財政課、公共施設マネジメント推進課より説明、またスポーツ推進室より、「大牟田市総合体育館建設に係る基礎調査」で整理されている新体育館の規模・機能について説明

②新体育館の機能と規模を考える

- ・市の財政状況等を踏まえながら、基礎調査で考えられた施設・規模、類似事例を参考に、目指す姿を実現する施設の機能や規模について話し合う

■各班の意見の集約＜新体育館に求められる機能と規模＞

- ・スポーツの場としての機能はもちろん、健康増進を目的にすることで、医療・介護費用等の抑制、またサンアビリティーズおおむたやリフレスおおむたなどの類似施設や延命庁舎などの既存施設との統合などの考え方も示される

施設・室名	考え方・使い方	規模
<ul style="list-style-type: none"> ●メインアリーナ ●サブアリーナ ●観覧席 ●武道場（柔道・剣道） ●卓球室 ●トレーニング室 ●多目的室 ●会議室・研修室 ●キッズルーム ●カフェレストラン （食堂） ○選手控室 （シャワー室・ロッカー） ○スタジオ ○コンビニ ○図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなスポーツ大会、イベントに対応 ・可動式・周回 ・帝京大学等との連携で適切な指導を ・視聴覚機器 ・安心して託せるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットコート3面 ・バスケットコート1面 ・1,500～3,000席 ・1室 ・10台程度 ・1室

「●」で示したものは各班でおおむね共通の意見

「○」で示したものは他の班ではあげられていない個別の意見

(4) 第4回実施概要

- 日時：11月6日（日） 10：00～12：00
- 会場：大牟田市文化会館 第1・2研修室
- テーマ：「新体育館の建設場所の検討とまとめ」
- 参加者：24人（5班）



■プログラム

①新体育館の機能と規模を確認

- ・第3回の各班の成果から整理できる機能と規模を確認し、さらにこれは欠かせない施設・機能必要とされる機能について、考え方（使い方）を話し合う

②基礎調査等における市の考え方

- ・スポーツ推進室より、基礎調査における新たな体育館の建設場所の候補地とそのメリットとデメリット、また候補地における交通量調査の結果などについて説明

③新体育館の建設場所は？

- ・白図を使って、基礎調査で示された建設場所の他に考えられる建設場所と理由を紹介し合う
- ・基礎調査の建設場所を候補地として加えた中で、建設場所について、考えられるメリット、デメリットについて話し合う
- ・最も適地と思われる建設場所を選ぶ（複数でも可）
- ・各班の建設候補地を発表した後、それぞれの候補地について参加者各自が投票し、傾向を確認

■各班の意見の集約＜新体育館の機能と規模の確認＞

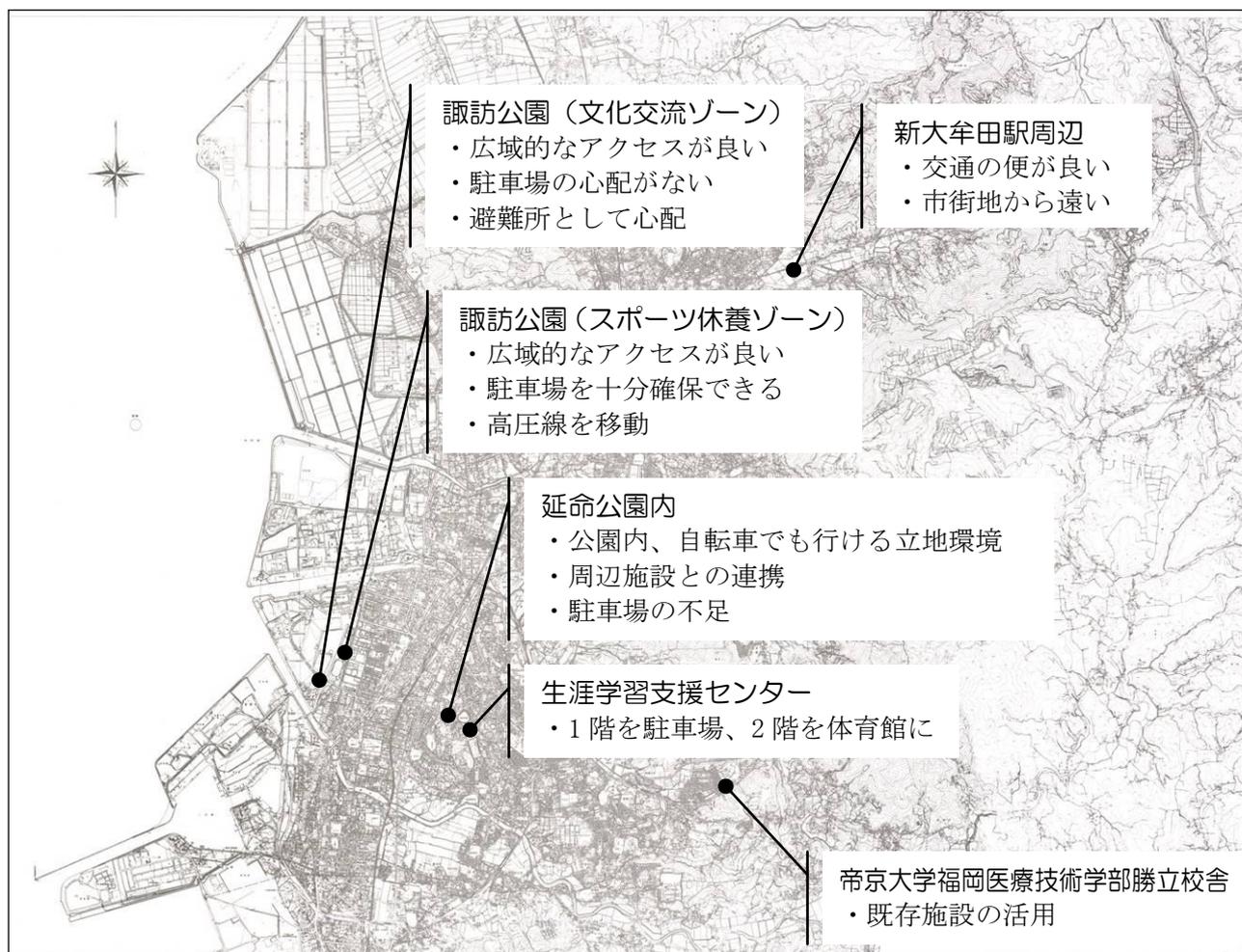
- ・第3回で、集約された考え方（使い方）や各班で相違した施設・室名と規模について再検討

3回目各班で共通	3回目各班と相違	新たに追加した項目
<ul style="list-style-type: none"> ・メインアリーナ (バスケットコート3面) ・サブアリーナ (バスケットコート1面) ・観覧席 (1,500～3,000席) ・武道場(柔道・剣道) ・卓球室 ・トレーニング室 ・多目的室 ・会議室・研修室 ・キッズルーム ・カフェレストラン(食堂) 	<ul style="list-style-type: none"> ・選手控室 ・シャワー室 ・ロッカー ・スタジオ ・コンビニ ・図書館 	<ul style="list-style-type: none"> →バスケットコート2～3面 →1階アリーナに可動式の席を設ける (1,500席以上) 4方向に観覧席を →プレイヤーにやさしい床施設 →照明、天井高が必要 →スポーツ関係の大学、学校とだけでなくさまざまな機関、団体と連携 →スタジオとしても利用 →スポーツ関連の本などを置く →保育士等、スタッフを配置(大会時等) →商業施設の近くに建設するのであれば不要 食事ができる(買ってきたものを食べられる) スペースを設ける ●ウォーキング、ランニングコース ●ボルタリング施設 ●大きめの備品倉庫 ●選手控室 ●売店 ●喫煙所(施設外に設ける)

「→」で示したものは考え方・使い方の追加、「●」で示したものは追加された施設・室

■各班の意見の集約＜新体育館の建設場所＞

- ・基礎調査以外の建設候補地として、新大牟田駅周辺や帝京大学福岡医療技術学部勝立校舎などがあげられた
- ・基礎調査に示される 4 つの候補地でメリット・デメリットが話し合い、延命公園と諏訪公園、それぞれ意見が分かれた



■個人の意向による建設場所の投票結果

建設場所	第1の候補地	第2の候補地
延命公園内	7票	9票
生涯学習センター	1票	1票
諏訪公園 (スポーツ休養ゾーン)	3票	7票
諏訪公園 (文化交流ゾーン)	10票	3票
新大牟田駅周辺	1票	0票
帝京大学福岡医療技術学部勝立校舎	0票	1票

3. ワークショップのまとめ

新体育館の「目指す姿」「機能と規模」「建設場所」について、4回を通じてワークショップで話し合われた意見を以下にまとめます。

(1) 新体育館の目指す姿

分類	新体育館の目指す姿
スポーツ活動の場 体力づくり・健康づくりの場	・スポーツ活動の場だけでなく、医療・介護費用等の抑制のためにも、市民の体力づくりや健康増進の役割を果たす体育館
トップレベルの大会の場	・子どもたちに夢を与え、また大牟田に人を呼び込むトップレベルのスポーツ大会、全国規模の大会やイベントが開催できる体育館
多機能・多目的な施設	・市民が気軽に集え、福祉や教育などさまざまな機能・多目的に使える体育館 ・災害時の避難所として防災機能を備えた体育館
バリアフリー	・高齢者や障がい者をはじめ誰にもやさしい体育館
整った設備環境	・施設の開放感や空調など、誰もが気持ちよく使える設備の整った体育館
利用（予約等）の利便	・予約システムの構築など誰もがいつでも、また使い勝手の良い体育館
駐車場の広さ アクセスの良さ	・駐車場が広く、誰もが行きやすく、行きたくなるような体育館

(2) 新体育館の機能と規模

施設・室名	考え方・使い方	規模
<ul style="list-style-type: none"> ●メインアリーナ ●サブアリーナ ●選手控室 ●ウォーキング、ランニングコース ●観覧席 ●武道場(柔道・剣道) ●卓球室 ●トレーニング室 ●多目的室 ●会議室・研修室 ●キッズルーム ●カフェレストラン(食堂) ●大きめの備品倉庫 ●売店 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなスポーツ大会、イベントに対応 ・1階アリーナに可動式、2階に4面固定席 ・選手にやさしい床 ・十分な照明、天井高の確保 ・帝京大学、福岡大学など、大学やささまざまな機関、団体と連携し適切な指導を ・スタジオとしても利用 ・視聴覚機器、スポーツ関連書籍の配置 ・安心して託せるようにスタッフの配置 	バasketコート2～3面 Basketコート1面 1,500席以上 卓球台10台程度

※話し合いの中では、以下のような意見も出されました

- ・バリアフリー化や空調など、設備を整え、高齢者や障がい者にとって利用しやすい体育館、また避難所として防災機能を備えた体育館とする
- ・健康増進機能を備えることで、医療・福祉・介護費など市の財政負担を軽減する
- ・サンアビリティーズおおむたやリフレスおおむたなどの類似施設や延命庁舎などの既存施設を統合し、公共施設維持管理計画との整合性を図る

(3) 新体育館の建設場所

